

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長崎純心大学
設置者名	学校法人 純心女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人文学部	文化コミュニケーション	夜・通信	25			25	13	
	地域包括支援	夜・通信		1		26		
	こども教育保育	夜・通信				26		
	比較文化	夜・通信				25		
	英語情報	夜・通信				25		
	人間心理	夜・通信				25		
(備考) 「学部等共通科目」に掲げている「1」について 現在、比較文化学科・英語情報学科・人間心理学科は学生募集停止をしている。 文化コミュニケーション学科は、平成30年度開設のため完成年度に至っておらず、この1単位数に係る科目については、文化コミュニケーション学科以外（地域包括支援学科及びこども教育保育学科）において今年度より開講している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/education.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等 該当なし

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長崎純心大学
設置者名	学校法人 純心女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/data/board.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	カトリック長崎大司教 区教区長	平 29. 4. 1～ 令 3. 3. 31	カトリックミッシ ョンスクールの使 命に基づいた教育 に関する意見の聴 取
非常勤	元国立大学長 前銀行監査役	平 29. 5. 9～ 令 3. 5. 8	教育研究・学校経営 に関する意見聴取
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎純心大学
設置者名	学校法人 純心女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年度12月にシラバス作成ガイドラインを全教員に配付する。教員は、統一の様式に従い、シラバスに掲載される項目をWeb入力する。入力された(仮)シラバスは、教務委員会によるシラバスチェックの後に確定され、3月のオリエンテーションから始講までに公表される。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://pl.n-junshin.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果について厳格かつ適正に評価し、単位を付与するとともに履修認定をするために、学期末試験に関する内規及び長崎純心大学における成績評定平均値(Grade Point Average)に関する規程を定め、手続きを明示し、可視化している。また、単位認定されるための要件(出席等)については、キャンパスガイドに記載し、成績評価の方法と基準についてはシラバスに明示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>長崎純心大学における成績評定平均値 (Grade Point Average) に関する規程を定め、運用するとともに、下記式によりG P Aを算出する旨をキャンパスガイド及び本学ホームページに記載し、公表周知している。</p> $\frac{(4.0 \times A+ \text{を得た科目の合計単位数}) + (3.0 \times A \text{を得た科目の合計単位数}) + (2.0 \times B \text{を得た科目の合計単位数}) + (1.0 \times C \text{を得た科目の合計単位数})}{\text{履修登録した科目 (不合格だった科目を含む) の総単位数}}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『Campus Guide 2019』(学生必携) 教務課で配付。 http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/education.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業要件単位及び必修科目の全単位を修得し、修業年限以上在学した者を対象とする教授会における卒業判定の厳格な審議を経て、学長が適正に卒業を認定する。教育課程は、ディプロマ・ポリシー実現のために策定されたカリキュラム・ポリシーに基づき編成されており、卒業認定者は、ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) に求められている学生像と合致している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>『Campus Guide 2019』(学生必携) 教務課で配付。 http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/education.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	学校法人 純心女子学園
設置者名	長崎純心大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/plan/plan.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/plan/plan.html
財産目録	http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/plan/plan.html
事業報告書	http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/plan/plan.html
監事による監査報告(書)	http://www.n-junshin.ac.jp/junshin_gakuen/content/plan/plan.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/accredit/self/self.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法： http://www.n-junshin.ac.jp/univ/guide/jinbun/about_jinbun/jinbun_summary.html)</p> <p>(概要) 本学は、学則第 2 条に定める目的及び使命を全うするため、時代の変化に適う地球時代のニューマニズムの構築を目指し、建学の精神たるキリスト教ヒューマニズムに基づく人文教育研究（ニューマニティーズ）を通して、それぞれに人材の養成を図る以下の 3 学科からなる人文学部を設ける。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/education.html)</p> <p>(概要) 卒業要件単位及び必修科目の全単位を修得し、修業年限以上在学した者を対象とする教授会における卒業判定の厳格な審議を経て、学長が適正に卒業を認定する。教育課程は、ディプロマ・ポリシー実現のために策定されたカリキュラム・ポリシーに基づき編成されており、卒業認定者は、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に求められている学生像と合致している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/policy/curriculum_policy.html)</p> <p>(概要) 人文学部の 4 年間のカリキュラムは「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」の 3 つの科目群によって構成される。 「基礎科目」は、人文学部の全学生に共通の科目群で、思考力、判断力、表現力の基盤となる教養を身につけ、外国語の運用力、情報処理能力及び健康の基礎を身につけることを目指す。さらに、地域社会の具体的な課題を学び、その解決のために協働することを通して主体的に学ぶ力を身につけることを目指す。 「基幹科目」は、各学科が目指す人材養成の目的を達成するために設けられた専門の科目群で、社会における自立のために必要な力を養成する。 「応用科目」は、専門の学芸を知的かつ道徳的に理解し、応用する能力を習得することで、広く社会に貢献するために設けられており、原則として人文学部の全学生が執筆する「卒業論文」と、論文執筆につながる少人数のゼミナールである「専攻演習Ⅰ」及び「専攻演習Ⅱ」から成る。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/policy/admission_policy.html)</p> <p>(概要) 長崎純心大学はキリスト教ヒューマニズムに基づき「知恵のみちを歩み 人と世界に奉仕する」を教育研究の指針としています。学力は豊かな人間性がそなわって知恵となり、人と世界に役立つとき、真の力となるからです。この指針のもと、本学人文学部は、文化コミュニケーション学科、地域包括支援学科、こども教育保育学科によって構成されています。 各分野において高い専門性を有し、人と世界に奉仕できる人間を育成することを使命とする長崎純心大学は、次のような資質、こころざしを持つ学生を求めます。 ・自ら学ぼうとする学習意欲をもち、社会に対する責任感、探究心、協調性を有する者 ・大学での学びをとおして、実践的な知識・技能と幅広い教養を習得し、自立的な応用力</p>

や判断力を身につけようとする者
 ・将来、自らの個性や得意分野を生かし、社会に貢献しようとする者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.n-junshin.ac.jp/univ/guide/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1 人	—					1 人
人文学部	—	25 人	13 人	11 人	5 人	0 人	54 人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		117 人					117 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.n-junshin.ac.jp/univ/guide/teachers/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年3月に全教職員を対象に、F D研修会を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	280 人	306 人	109%	1,180 人	1,061 人	89%	若干名人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	280 人	306 人	109%	1,180 人	1,061 人	89%	若干名人	0 人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	250人 (100%)	7人 (3%)	230人 (92%)	13人 (5%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	250人 (100%)	7人 (3%)	230人 (92%)	13人 (5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
【進学先】長崎純心大学大学院、国立大学専攻科・他大学大学院、公務員専門学校 他				
【就職先】小学校教員、中学校教員、保育園・幼稚園・認定こども園、長崎県庁、長崎県警察、長崎市・諫早市・五島市・対馬市市役所、榊十八銀行 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
12月にシラバス作成ガイドラインを全教員に配付する。教員は、統一の様式に従い、シラバスに掲載される項目をWeb入力する。入力された(仮)シラバスは、教務委員会によるシラバスチェックの後に確定され、3月のオリエンテーションから始講までに公表される。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
卒業要件単位及び必修科目の全単位を修得し、修業年限以上在学した者を対象とする教授会における卒業判定の厳格な審議を経て、学長が適正に卒業を認定する。教育課程は、ディプロマ・ポリシー実現のために策定されたカリキュラム・ポリシーに基づき編成されており、卒業認定者は、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に求められている学生像と合致している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	文化コミュニケーション学科	132 単位	⑦・無	年間 48 単位
	地域包括支援学科	131 単位	⑦・無	年間 48 単位
	こども教育保育学科	131 単位	⑦・無	年間 48 単位
	比較文化学科	132 単位	⑦・無	年間 48 単位
	人間心理学科	130 単位	⑦・無	年間 48 単位
	英語情報学科	130 単位	⑦・無	年間 48 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/facilities/campus_guide.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人文学部	文化コミュニケーション	670,000 円	240,000 円	220,000 円	授業料 : 2 年次 690,000 円 3 年次 710,000 円 4 年次 730,000 円
	地域包括支援	670,000 円	240,000 円	220,000 円	授業料 2 年次 690,000 円 3 年次 710,000 円 4 年次 730,000 円
	こども教育保育	690,000 円	240,000 円	220,000 円	授業料 2 年次 710,000 円 3 年次 730,000 円 4 年次 750,000 円
	比較文化	— 円	— 円	220,000 円	学生募集停止 (平成 30 年 4 月)
	英語情報	— 円	— 円	220,000 円	学生募集停止 (平成 30 年 4 月)
	人間心理	— 円	— 円	220,000 円	学生募集停止 (平成 30 年 4 月)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) すべての学生が安全で快適な学生生活が送れるようサポートする体制をとっている。全教員が「オフィスアワー」の時間を設け、授業の質問・相談に応じているほか、クラスアドバイザーが学生一人ひとりの相談に親身に応じている。オリエンテーション期間には、上級生による新入生への個別サポートも行っている。 また、配慮が必要な学生を支援するチームを作り、配慮を希望する学生の求める配慮内容に対し、当該学生との面談を行い、チームで配慮内容を協議し、全教職員に周知している。 東京や長崎近郊での研修、小学校・幼稚園・保育園・施設等での一日体験学習の実施など各学科で計画し、学生が実際に現場で触れることができる機会を多く設けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援のため、キャリアセンターを設置している。キャリアセンターには、キャリアカウンセラーが常駐し、就職・進学相談など学生一人ひとりにきめ細やかなサポートを行っている。年間にキャリアフェスタ（毎年1週間程度設定）、キャリアオリエンテーション（毎年9月・3月開催）などを実施し、進路を考える機会を多く設けている。 また、授業のほか教員採用試験対策講座や社会福祉士・精神保健福祉士などの国家資格対策講座も開催している。学内で実施している各種検定試験も希望者は、受検可能である。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) すべての学生が安全で快適に学生生活を送ることができるように相談や支援する組織を設けている。保健センター内に保健室・学生相談室を設置し、健康面だけでなく、友人関係、家族関係、学業や日常生活で困っていることなどの相談に応じている。また、さまざまなハラスメント防止の取り組みとして、人権デスクを設置し、メンバーの教員に相談できるようにしている。配慮が必要な学生を支援するチームとも連携をとりながら、支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.n-junshin.ac.jp/univ/profile/disclosure/education.html>